

平成29年度事業報告

I 平成29年度の事業計画（重点項目）への取り組み

1 地域医療の連携及び対策（地域包括ケアシステム構築及び地域医療構想調整会議への関与） （嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所）

平成29年7月20日 福岡県飯塚区域地域医療構想調整会議（第1回）

平成29年11月13日 福岡県飯塚区域地域医療構想調整会議（第2回）

平成29年12月26日 福岡県飯塚区域地域医療構想調整会議（第3回）

平成30年2月20日 福岡県飯塚区域地域医療構想調整会議（第4回）

（県医）

平成29年6月6日 第1回地域医療構想調整会議委員・各医師会担当理事合同会議

平成29年10月19日 第1回地域医療構想会長会議

平成30年2月23日 第2回地域医療構想会長会議

（飯塚医師会）

平成30年1月31日 飯塚医療圏地域医療連携室連絡協議会（第1回）

◇対象者 地域医療連携を担当している部署の管理者もしくは担当責任者

◇目的 飯塚医療圏における断らない医療体制と在宅医療への移行支援体制の構築

2 福岡県医療情報システム（とびうめネット）への参画

3 組織力強化への取り組み

会費等規程の一部改正を行い医師免許取得後6年未満の勤務医師の会費を減免扱いとすることにより入会促進を図った。

4 医道倫理の昂揚（自浄作用活性化の推進）

5 救急医療対策の推進

休日在宅当番医制・病院群輪番制・大災害時支援体制、飯塚急患センターの充実

※平成30年3月26日に合同調印式を行い「災害時における医療救護活動に関する協定」を飯塚市・嘉麻市・桂川町と締結した。

6 飯塚医師会臨床検査センターの効率的な運営

7 各種検診、人間ドック、がん検診、特定健診・特定保健指導事業の推進 市町との連携と協力体制の構築

8 医療安全管理義務化対策

9 改正個人情報保護法の遵守

10 診療情報提供の推進と医事紛争防止対策

11 旧会館整備計画

※平成29年6月22日売買契約

II 平常業務関係

1 会務

(1) 諸規定の検討

(2) 事務・会計の合理化

(3) 職員対策

(4) ブロック医師会との連携強化

①平成29年度福岡県医師会筑豊ブロック役員会

日時・場所 平成29年7月7日 19:30 「ホテル楠水閣」

②正副会長・専務理事会議

日時 平成29年5月12日 19:00

日時 平成30年2月8日 19:00

- 48 (5) 医政の強力な展開
 49 衆議院議員選挙候補予定者との政策協定締結
 50 国民医療を守るための福岡総決起大会（平成 29 年 12 月 21 日）への参加、
 51 (6) 行政、関係官庁との緊密な連携
 52 行政の各種審議会等に理事が委員として参画し意見を述べた。

53
 54 **2 会員**

- 55 (1) 医道倫理の昂揚
 56 (2) 生涯研修の充実
 57

開催日	演 題	単 位	カリキュラムコード [*]				出 席 者 数	内 会 員 数
4/13	「糖尿病を合併した脂肪性肝疾患の薬物療法」 西原 利治（高知大学医学部）	2	4	5	54	75	50	30
6/13	「高アンモニア血症を伴う肝硬変患者のカルニチン 補充治療」 伏見 崇（社会保険田川病院）	2	9	15	53	82	35	18
	「主膵管型 IPMN と考えられる主膵管拡張の症例の 考察」 板野 晋也（社会保険田川病院）							
7/18	「RomelV 分類からみる便秘型過敏性腸症候群の考 え方と新規治療」 伊原 栄吉（九州大学病院）	2	15	53	54	23	44	19
8/2	「酸関連疾患と非酸関連疾患の診断」 土田 治（済生会飯塚嘉穂病院）	2	4	15	51	52	36	17
	「酸関連疾患の新たな治療戦略」 岩切 勝彦（日本医科大学大学院）							
8/29	「NOAC 時代の抗血栓療法の考え方」 井上 修二郎（飯塚病院）	1.5	1	9	78		27	20
10/12	「当院での PAD 治療について-内科的取組-」 堤 孝樹（飯塚病院）	1.5	7	15	50		34	19
	「当院での PAD 治療について-外科的取組-」 松元 崇（飯塚病院）							
	「PAD 患者の抗血小板療法と消化管出血マネー ジメント」 曾我 芳光（小倉記念病院）							
10/16	「最適な 2 型糖尿病治療を目指して」 福井 道明（京都府立医科大学大学院）	2	4	11	47	76	39	26
10/17	「当病院での喘息治療における呼気 No の意義」 浅地 美奈（飯塚病院）	2	19	45	46	79	41	23
	「より良いコントロールを達成する喘息治療のコツ」 矢寺 和博（産業医科大学）							

10/18	「高齢者の2型糖尿病」 林田 昌之（林田胃腸科医院）	1.5	15	19	53	28	16	
	「肝疾患の診療に活かす超音波検査」 黒松 亮子（久留米大学医学部）							
11/9	「脂質異常症治療薬の最近の話題」 中野 正紹（飯塚病院）	1.5	11	73	75	29	14	
	「冠動脈疾患二次予防における非スタチン脂質低下薬の役割」 的場 哲哉（九州大学病院）							
11/14	「進行肝癌を合併した肝硬変患者におけるトルバプタンの効果予測因子の解析」 宮崎 将之（飯塚病院）	2	4	6	7	27	23	14
	「DAA治療によるHCV除去成功例での肝発癌因子の解析」 矢田 雅佳（飯塚病院）							
11/16	「心房細動治療イノベーション-生命予後改善と寝たきり防止を目指して-」 奥村 謙（済生会熊本病院）	1.5	7	43	44	35	24	
12/6	「運動器慢性疼痛に対する診断と治療」 浜崎 晶彦（飯塚病院）	2	13	62	70	73	16	8
	「一般科でのうつ病治療の要点と精神科との連携」 香西 洋（香西洋クリニック）							
1/17	「おさえておきたい肝胆膵の画像診断」 吉満 研吾（福岡大学医学部）	1	9	73		50	17	
2/8	「てんかん患者のフォローと紹介のタイミング」 高瀬 敬一郎（飯塚病院）	1.5	2	35	78	24	15	
2/21	「新たなステージへ入ったC型肝炎治療」 矢田 雅佳（飯塚病院）	1	2	73		24	13	
3/13	「当院における腹腔鏡下肝切除術の現状」 皆川 亮介（飯塚病院）	2	7	18	27	50	34	25
	「肝切除術後の肝硬変難治性腹水に対する薬物療法について」 萱島 寛人（飯塚病院）							
3/16	「SGLT2阻害薬 ヘマトクリットの謎」 佐野 元昭（慶應義塾大学医学部）	1.5	9	76	82	35	31	
	「SGLT2阻害剤の新展開～糖尿病の王手？～」 西村 治男（大阪府済生会中津病院）							

- 58 (3) 保険対策並びに保険審査に対する対応
59 (4) 福祉対策の充実
60 《文化・スポーツ奨励》
61 第39回飯塚医師会文化祭(作品展) 出品数84点、来場者数177名
62 日時:平成29年10月28日(土)13:00~17:00、29日(日)9:00~16:00
63 会場:飯塚医師会3F学校第1・2教室
64 《福利厚生》
65 ① 会員忘年会
66 平成29年12月14日(木)19:00[パドドウ・ル・コトブキ]参加者109名
67 ② 会員及び家族の健康診断(人間ドック、医師国保組合特定健診)
68 実施日 平成29年12月に5日間
69 平成30年1月に5日間
70 受診者 72名(うち医師国保組合42名、特定健診41名)
71 ③ 会員医療機関従業員の定期健康診断胸部X線検査の実施
72 実施期間 平成30年2月2日~2月27日のうち12日間
73 実施施設 46医療機関
74 受診者数 737名
75 (5) 会員保険の促進
76 (6) 税務対策
77 (7) 医報・広報活動の充実
78 ① 飯塚医師会報「VOICE」発行
79 ・通巻141 平成29年6月20日発行
80 ・通巻142号 平成29年10月5日発行
81 ・通巻143号 平成30年1月26日発行
82 ② 市民公開講座「ここまで進んだ肺がん治療」の開催
83 日時 平成29年11月18日(土)14:00~16:30
84 会場 飯塚医師会講堂
85 講演
86 ①『体にやさしい外科治療』飯塚病院呼吸器外科部長 大崎敏弘 先生
87 ②『進行がんの強い味方』飯塚病院呼吸器腫瘍内科部長 海老規之 先生
88 ③『最高の治療法を見つけるために』西日本がん研究機構 武田晃司 先生
89 シンポジウム『肺がんなんか怖くない』
90 座長:西日本がん研究機構(WOG) 武田 晃司 先生
91 飯塚病院特任副院長 山本 英彦 先生
92 シンポジスト:
93 飯塚病院呼吸器外科部長 大崎敏弘 先生
94 飯塚病院呼吸器腫瘍内科部長 海老規之 先生
95 肺がんサーバイバー 栗生和幸 氏
96 福岡産業保健支援センター 三谷梨紗 氏
97 参加者数 50名
98 ③ 福岡県医師会医療モニター制度「メディペチャ」
99 福岡県医師会が、県民からの医療・医師会・医療機関・医師等に対する意見
100 や要望、医療全般に感じていることなど、さまざまな声に耳を傾け、双方向
101 性をもった意見交換の場として平成15年度より実施されている「医療モニタ
102 ー制度」で、日医・県医はもとより地元医師会の取り組みや活動を知らない
103 地域住民に対して、積極的に医師会活動等の情報提供を行うと同時に、様々
104 なテーマのもと直接意見交換をすることで、県民とのより良好な関係を構築
105 しようというもので、県内4ブロックにおいて開催されており、本会も会場
106 提供など協力している。

107 メディペチャ筑豊 第1回会合 平成29年9月2日(土) 15:00
 108 第2回会合 平成29年10月21日(土) 15:00
 109 第3回会合 平成29年11月25日(土) 15:00
 110 会場：飯塚医師会第1研修室、第2研修室

- 111 (8) 麻薬・覚醒剤対策
- 112 (9) 図書の整理
- 113 (10) 医事調停
- 114 (11) 医療情報開示
- 115 (12) 従業員対策

116 **3 地域医療**

- 117 (1) プライマリケアの充実・福岡県医師会「新かかりつけ医」体制の推進
- 118 (2) 病診連携の推進
- 119 (3) 救急医療対策（大規模災害時対策を含む）
 120 救急の日の普及啓発事業
 121 「福岡県救急の日のつどい2017」及び「平成29年度飯塚地区救急の日のつどい」
 122 日 時 平成29年9月9日(土) 13:00～16:00
 123 会 場 イイツカコスモスコモン中ホール及び広場
 124 入場者 410名

- 125 (4) 健康教育の活発化
 126 「みんなの健康・福祉のつどい2017」を飯塚市・西日本新聞社、飯塚市社会福祉
 127 協議との共催で開催。飯塚医師会は経費の一部を負担する他、検診検査センター
 128 が骨塩量測定コーナーを担当して市民の健康に対する関心を深めるべく努めた。
 129 日時 平成29年10月15日(日) 9:30～15:00
 130 場所 イイツカコスモスコモン、コミュニティセンター
 131 健康展コーナーの延人数2,272人
 132 実績 骨塩量測定コーナー 受診者数 150名（医師2名、センター職員5名出
 133 務）

- 134 (5) 感染症（新型インフルエンザ、風しん、MRSA、C型肝炎、B型肝炎）対策
- 135 (6) 乳幼児保健対策、予防接種の定期接種化実現に向けた活動（おたふくかぜ）
- 136 (7) 学校医活動
- 137 (8) 産業医活動
- 138 (9) 介護保険活動

139 ① 会員が介護認定審査会委員として出務に協力

140 ② 福岡県介護保険主治医研修事業
 141 日時 平成30年2月15日(木)19:00
 142 場所 飯塚医師会講堂
 143 内容（講義方式）

- 144 ① 「平成30年度介護報酬の改定について」
- 145 ② 「疾患の診断について」（認知症部門）
- 146 ③ 「介護保険制度における主治医の役割」
- 147 ④ 「主治医意見書の具体的な記載方法について」
- 148 研修終了者 14名

- 149 (10) 住民検診・集団検診・人間ドック検診・事業所検診・団体検診の促進
- 150 (11) 医療・保健・福祉情報システムの整備・充実

151 **4 事業部門**

- 152 (1) 看護高等専修学校
 153 平成29年4月から平成30年3月までに開催した運営委員会は10回、運営上必
 154 要な事項について協議検討を行った。また、平成30年1月20日(土)に平成
 155 30年度生（第67回生）の入学試験を実施し、受験者数80名中、64名（男14

156 名、女 50 名)の合格者があった。また、平成 30 年 3 月 7 日に第 65 回生の卒業
 157 式を挙行し、59 名(男 9 名、女 50 名)の卒業生を送り出した。また、直方鞍手
 158 医師会の当番で筑豊ブロック看護生涯教育研修を 1 回実施した。

159 ・平成 29 年度筑豊ブロック看護生涯教育研修会

160 日時・場所 平成 29 年 10 月 28 日(土) 14:00~16:00[福岡県立大学]

161 講演テーマ 「「ストレスを減らすコミュニケーション」」

162 受講者数 131 名(うち飯塚 56 名)

163 (2) 臨床検査センター並びに検診センター

164 平成 29 年 4 月から平成 30 年 3 月までに開催した運営委員会は 12 回、運営上必
 165 要な事項について協議検討を行った。

166 (3) 訪問看護ステーション並びにケアプランサービス

167 平成 29 年 4 月から平成 30 年 3 月までに開催した運営委員会は 7 回、運営上必要
 168 な事項について協議検討を行った。

169 III 受託事業・協力委託事業関係

事業の名称等	実施内容
飯塚急患センター運営業務 (飯塚市との委託契約)	1 救急患者の診療(内科・小児科)に関する医療業務 2 診療報酬等の請求及び徴収に関する業務 3 その他必要な業務
休日在宅当番医制事業 (飯塚市・嘉麻市・桂川町との委託契約)	1 休日又は夜間の診療を行う在宅当番医の当番日の調整事業及び在宅当番医の実施事業 2 休日夜間急患センターへ派遣する医師の調整を行う事業 3 地域住民に対する救急医療知識の普及啓発を行う事業
病院群輪番制病院運営事業 (飯塚市・嘉麻市・桂川町との委託契約)	参加病院は当番日に通常の当直体制の外に、輪番制事業のための受入体制を整備。
地域包括ケア拠点整備事業 (飯塚市より業務委託請負)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 飯塚圏域内の「病・病連携」及び「病診連携」による地域在宅医療の充実と、継続性のある医療・介護サービスの提供体制構築に資するブロック別連絡協議会の運営 ・ 医療関係者、介護事業者関係者及び地域包括支援センターの相談支援 ・ 歯科医師会及び薬剤師会との連携体制の構築 ・ 介護に関する社会資源の把握 ・ 在宅医療・介護連携に資する研修会の実施 ・ 地域包括ケアシステム構築の推進に向けて、ブロック協議会等での課題抽出、関係機関へのフィードバックの実施、地域包括ケアシステム構築を実現するための具体的方策の検討及び取組の推進
在宅医療連携拠点整備事業 「地域医療介護総合確保基金」(平成 26 年度～)	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>在宅医療相談窓口業務</u> 在宅医療の連携拠点として、専従の相談支援員(社会福祉士や看護師等)を配置する相談支援窓口を設置し、地域包括支援センターと緊密な連携を図りながら、(ア)~(キ)の業務を行い、地域の社会資源の量・質に関する最適化に向けた活動を展開する。 (ア)本事業に係る運営業務 (イ)地域包括支援センターと連携し、在宅医療・

	<p>介護 サービスの相談支援</p> <p>(ウ) 在宅医療・介護の相談支援(在宅診療や訪問看護サービス等の紹介・調整)</p> <p>(エ) 地域包括支援センター、地域の福祉機関等への医療的助言・支援(アウトリーチ)</p> <p>(オ) 多職種連携研修の開催支援</p> <p>(カ) 在宅医療・普及啓発のための企画運営</p> <p>(キ) 自治体(嘉麻市、桂川町)、各関係機関及び団体間との調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 退院時連携促進事業 <p>1) 脳血管疾患、大腿骨骨折、がん等にかかる地域連携バスを活用するとともに、地域連携バス活用の効用測定手法の検討及び検証を行い、当該地域連携クリティカルパスについて医師会や病院関係者への研修会(地域医療連携研修会)を通じて一層の普及を図り、退院時の連携促進を図り、切れ目のない医療をめざす。</p> <p>2) 1) の目的達成のため、地域医療連携推進連絡協議会及び地域医療連携研修会を開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅医療提供体制の検討 ・ 在宅医療推進に係る研修会の開催 ・ 住民への啓発
福岡県医師会協力委託事業	<p>1 かかりつけ医認知症対応力 向上フォローアップ研修</p> <p>日時 平成 29 年 11 月 20 日 (月) 19 時</p> <p>講演 「認知症と「睡眠」」 たていわ病院 理事長 山本 克康 先生 (認知症サポート医)</p> <p>研修終了者：17 名</p> <p>2 福岡県地域住民、家族介護者向け 認知症公開講座事業</p> <p>日時 平成 30 年 3 月 3 日 (土) 14 時 00 分</p> <p>第 1 部：基調講演『認知症であろうとなかろうと皆で繋がって暮らせるまちづくり』 講師：大牟田市認知症ライフサポート研究会代表 大谷 るみこ 氏</p> <p>第 2 部：パネルディスカッション 『みんなで認知症の人を支える』</p> <p>① 「認知症ってどんな病気？」 医療法人 康和会 柴田みえこ内科・神経内科クリニック 院長 柴田 美恵子 先生</p> <p>② 「地域を支える認知症コーディネーター」 麻生介護サービス株式会社地域密着型事業マネージャー 河岡 由華 氏</p> <p>③ 「高齢者の交通事故と運転免許について」 飯塚警察署交通課交通総務係 警部補 佐々木拓也 氏</p> <p>④ 「認知症に対する施策について」</p>

	<p>飯塚市福祉部 次長 石松 美久 氏 コメンテーター 認知症疾患医療センター長 中嶋 俊一 先生 西日本新聞社筑豊総局長 西村 隆幸 氏 参加者数 117 名</p> <p>3 一般かかりつけ医と精神科医の連携強化事業 (平成 29 年度から県内 4 ブロック毎に実施) ・連絡協議会を 2 回開催 ・連携研修会の開催 平成 30 年 2 月 22 日 (木) 19 時 研修【講演】 座長 丸野 陽一 先生 (連携強化事業連絡協議会委員長) 演題 「メンタルヘルス・ファーストエイド ～患者さんの心の不調サインに気付いたら～」 演者 九州大学大学院医学研究院 精神病態医学分野 講師 加藤 隆弘 先生 研修終了者 26 名</p> <p>4 一般科医向け研修開催によるアルコール依存症 連携構築事業 日時 平成 29 年 11 月 7 日 (火) 19 時 講演 「依存症とその回復－アディクションからの回復 のための穏やかな繋がりを求めて－」 福岡県立大学看護学部准教授 四戸 智昭 先生 研修受講者 13 名</p>
<p>福岡産業保健総合支援セン ター飯塚地域窓口の運營業 務</p>	<p>事業場訪問実施</p>
<p>認知症初期集中支援チーム 派遣事業 (飯塚市・桂川町)</p>	<p>認知症初期集中支援チームチーム会議を 5 回開催</p>